桐生市

小川 由起子（おがわ ゆきこ）さん

染と織　櫟（くぬぎ）代表　／　上州座繰り・染め・織り職人

絹の新たな魅力を伝える桐生座繰布を全国に

「染と織　櫟」代表。上州座繰りによる糸づくり、染色、織り、デザインを手掛ける。19歳の時に染工場でアルバイトを始めたことをきっかけに染めに携わるようになる。その後、染色工場や織物工場で勤務する傍ら、織物や糸づくりを学び、28歳の時に「櫟」を立ち上げる。名前は、天蚕が櫟の葉を食べることと、草木染の材料として櫟を使用することに由来。長年仕事と並行して、作品作りを行ってきた。

40代で大病を患ったことをきっかけに、「好きなことを貫きたい」と2012年から作品制作一本に絞っている。作品はインターネット販売の他、毎年全国各地で展示会を行っている。ストールやバッグ、洋服などさまざまなタイプを手掛け、全国にファンがいる。2018年には「桐生座繰布」の群馬県ふるさと伝統工芸士に認定された。

2012年桐生市工芸展にて桐生市教育委員会教育委員長賞、2005年同展にて桐生市工芸会員賞。

INTERVIEW

インタビューにも気さくに答える小川さん。

Q この仕事との出会いを教えてください。

19歳の時に入院をして、その時同室だった女性が、染めの仕事をしている方でした。退院後誘われて、染工場にアルバイトとして勤めたのがこの世界との出会いです。

そこで、県の藍染め講座があることを知り、仕事をしながら半年ほど通い、そこで染めの世界にどっぷりとはまりました。講座には、染めはもちろん、織物職人、伝統工芸士など錚々（そうそう）たる方たちが通っていて、たくさんの人と知り合うことができました。その後23歳で織物工場に転職。手機（てばた）を覚え、そこでは、染めの技術もできたので、織物に色をのせる作業もしました。その頃、自己流で糸づくりも始めました。櫟という名前で活動しはじめたのは28歳頃です。

様々な染料を使い、多様な色を作り上げる。

一度は、こういった仕事を離れて、全く別の仕事についていたこともありましたが、数年前に今のスタイルに落ち着きました。

Q 具体的な仕事内容は？

上州座繰りで糸を作ること、染色と織りです。比率でいうと染色が多いでしょうか。麻の生地なども染め、商品も作っています。

Q やりがいは？

年に16回ほど、展示会をいろいろな場所で行うのですが、お客さまに待っていただいていて、「今度はいつ来るの？」と声をかけてもらうのもうれしいですね。20年前の商品を持ってきてくれる人もいます。長く使ってもらえることがうれしいですし、当時はこんな風に作っていたんだと自分の作品を振り返ることもできます。昔の作品に勇気づけられることもありますよ。

「集中して何も考えないので一番好きな作業」という織り作業。

上州座繰りによる糸づくり。柔らかくしなやかな糸ができる。

作品作りは繭を煮るところから始まる。

Q 作品に関してのアイデアはどんなところから？

市場は本当に大切です。なので、流行の色やデザインなど取り入れることを心掛けています。たまには百貨店などに行き、アクセサリーやストールはどんなものが売れているのかチェックしています。シルクのオーガンジーの透明感はクリスタルとかガラスの色合いがとても参考になるんですよ。色をたくさんそろえることも気をつけていますね。昔は草木染だけでしたが、最近では化学染料も使用しています。季節ごとに色の雰囲気が変わり、楽しめます。

仕事への思いを語るときの口調には熱がこもる。

Q こういった仕事に携わっていて、群馬という場所は働きやすいでしょうか？制作活動はしやすいですか？

桐生を拠点に活動しているので、いろいろな方に力を添えてもらって、ひとつの形にすることができたと思います。群馬県の繊維工場試験場の存在も大きいですね。

こういった仕事は、群馬県ではまだまだ可能性を秘めていると思いますので、次の世代に残していきたいとも思っています。若い人に教えていきたいですね。ただ技術を教えるのではなく、制作したものの売り先まで引き継ぎたいと思います。

Q 昨年、群馬県ふるさと伝統工芸品に、小川さんの桐生座繰布が認定され、またご自身も群馬県ふるさと伝統工芸士に認定されました。認定についてはどのような感想をお持ちですか？

重みがあります。これからが大切ですよね。「伝統工芸品」として認められたので、お客様に期待していただけることを願っています。また、糸作りを教えて下さった亡き先生に恩返しが出来るよう今後の制作に力を注ぎたいと思います。

絹を扱う楽しさも感じられる「櫟」という字がお気に入りだという。

Q 今後について、なにか作ってみたい商品などはありますか？

ウェディングドレスを作ってみたいですね。伝統を守りつつ、若い人に興味をもって頂けるような製品も少しずつ制作したいと思います。

INFORMATION

染と織　櫟（くぬぎ）
群馬県桐生市宮前町2-16-13
TEL：0277-22-4722